



組織概要

ぬましんは、地域のお客さまの利便性の向上や、業務の効率化と人材の有効活用を図り、お客さまに満足していただけるよう付加価値の高いサービス提供をしていきます。

役員一覧

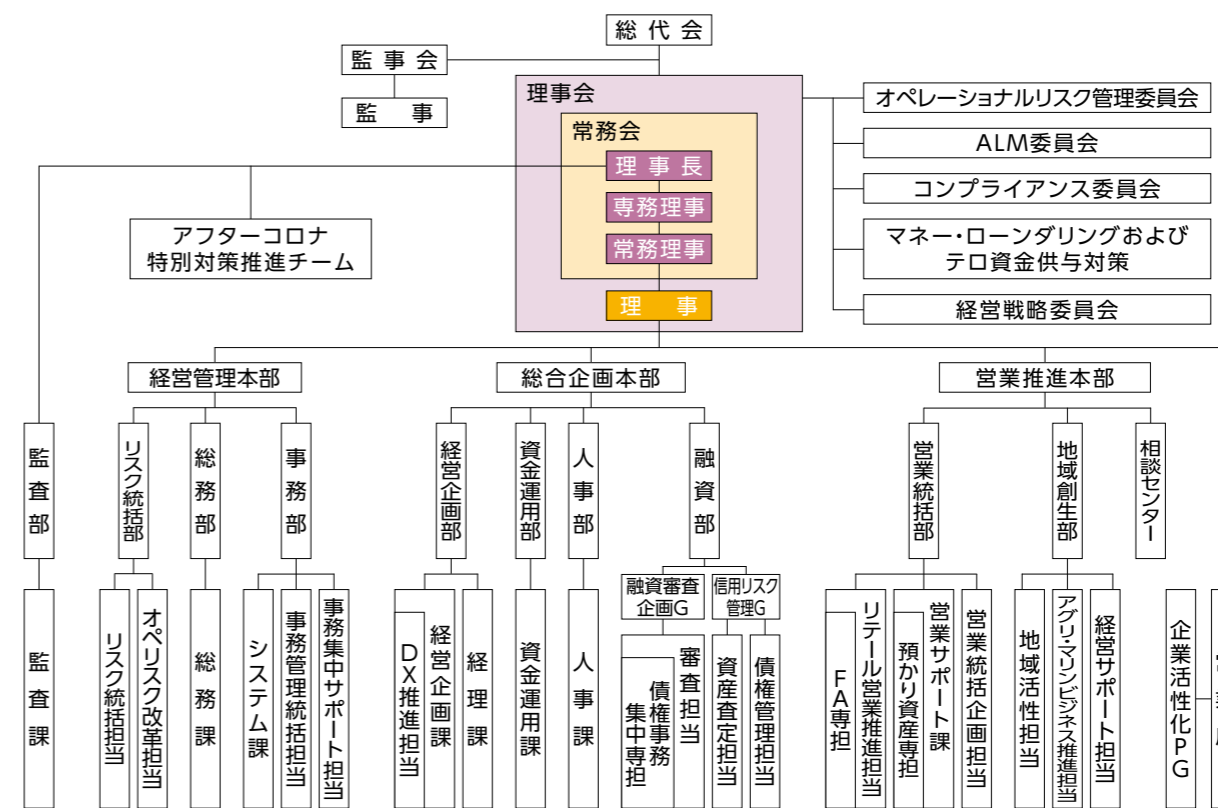
2021年6月22日現在

- 理事長 紅野 正裕 ※1 (代表理事)
- 専務理事 鈴木 俊一 ※1 (代表理事)
- 理事 岩田 信彦
- 理事 小野 貢
- 常勤監事 杉山 宏
- 常務理事 奈良橋 弘 (代表理事)
- 理事 松井 洋二
- 非常勤理事 近藤 浩志 ※2
- 非常勤監事 伊東 哲夫 ※3
- 常務理事 高嶋 眞樹 (代表理事)
- 理事 石塚 賢
- 非常勤理事 内海 雅秀 ※2
- 非常勤監事 梅田 欣一 ※3

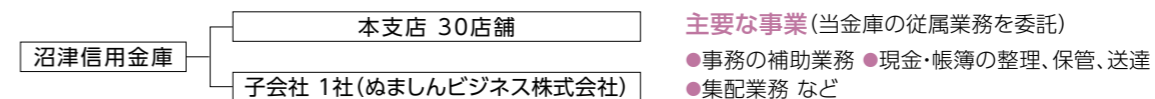
※1 2021年8月2日付で現理事長(代表理事)の紅野正裕が会長(代表理事)へ、現専務理事(代表理事)の鈴木俊一が理事長(代表理事)へ就任予定です。
 ※2 近藤 浩志、内海 雅秀は、信用金庫業界の「総代会の機能向上策に関する業界申し合わせ」に基づく職員外理事です。
 ※3 伊東 哲夫、梅田 欣一は、信用金庫法第32条第5項に定める員外監事です。

組織図

2021年4月1日現在



》》 連結子会社 [ぬましんビジネス株式会社]



総代会制度

総代会制度について

総代会は会員の皆さまのご意見を適正に反映させるための開かれた制度です。

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員一人一人の意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、一人一票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加していただくこととなりますが、当金庫では、会員数が多いため、総会に代えて「総代会制度」を採用しております。

「総代会」は、信用金庫法で定められた、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を

決議する最高意思決定機関であり、総会と同様に、会員一人一人の意見が当金庫の経営に反映されるよう、会員の中から適正な手続きにより選任された「総代」により運営されます。

また、当金庫では、「総代会」に限定することなく、日常の事業活動を通じて会員の皆さまとのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

総代の定数・任期について

総代定数は、定款の定めにより70名以上140名以内となっており、選任する総代の定数は理事会で決定します。

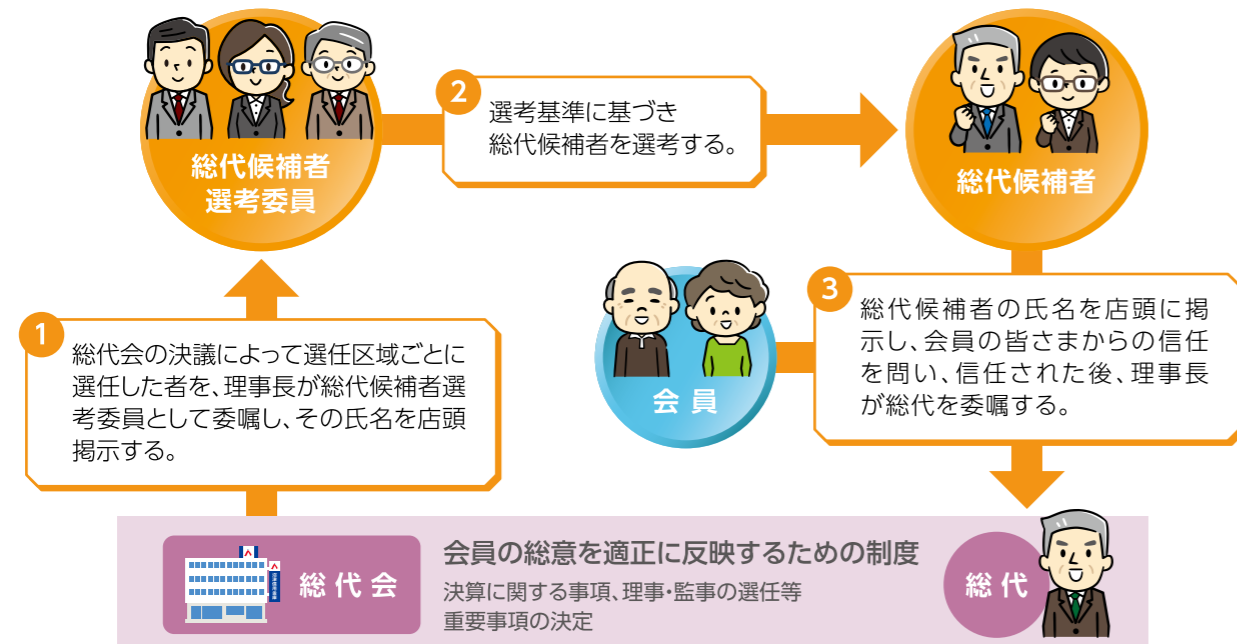
当金庫の営業地区を4カ所の選任地区に分け、地区ごとの会員数に応じて各選任地区の総代定数を定めております。
(具体的な地区別・定数は「総代の氏名・選任区域」としております。)

総代の任期は、選任された年の9月1日から3年後の8月31日までとなっております。

総代の定年は、総代選任規程にて70歳となっております。
(但し、1998年9月以降新任された総代より適用。なお、旧駿河信用金庫の総代については、2004年8月以降新任された総代より適用。)

総代の選任方法について

総代は、会員の代表として会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っており、総代候補者選考基準に基づき、次の手続きを経て適正に選任されます。



総代候補者の選考基準について

- (1)資格要件
 - ・当金庫の個人会員である事
- (2)適格要件
 - ・総代として相応しい見識を有している事
 - ・良識を持って正しい判断ができる人
 - ・地域における信望が厚く、総代として相応しい人
 - ・地域での居住年数が長く、人縁関係が深い方
 - ・行動力があり、積極的な方
 - ・人格、見識に秀で、当金庫の発展に寄与できる方
 - ・金庫の理念・使命をよく理解し、金庫との密接な取引関係を有する方
- (3)その他(次項に該当する場合は原則として再任しないものとする)
 - ・当金庫との取引が疎遠または、解消された場合
 - ・総代として相応しくない状態になった場合
 - ・市町村長・県会議員以上の選挙立候補もしくは当選した方
 - ・任期満了日現在の年齢満70歳に達した場合は、その任期の満了をもって終わるものとする。(但し、1998年9月以降新たに選任された総代より適用する。なお、旧駿河信用金庫の総代については、2004年8月以降新任された総代より適用。)

第71期通常総代会の決議事項

2021年6月22日開催の第71期通常総代会において決議された下記の各議案は、原案どおり承認可決されました。



記

- 報告事項
第71期業務報告、
貸借対照表および損益計算書報告の件
- 第1号議案
第71期剰余金処分案承認の件
- 第2号議案
総代候補者選考委員の任期満了に伴う選任の件
- 第3号議案
定款第15条に基づく会員の法定脱退の件

以上

任期は、2019年9月1日から2022年8月31日
(氏名右横の数字は就任回数 敬称略、五十音順)

総代の氏名・選任区域

区	区域	人数	氏名									
第1区	沼津市東海道本線以北 但し、東海道本線によって 分断される次の地域は以南 も編入する。 大岡	26	浅沼 直之① 木村 治司② 鈴木 良則⑩ 松井 秀夫①	天野 能孝① 樽林 武臣⑦ 清 マキ② 三輪 俊城⑧	岩塚 雄二① 菅原 成治① 高安のみ子⑤ 矢田 利雄⑩	植松 弘行⑥ 杉本 雅俊⑧ 辻村 浜夫⑧ 山崎 裕章①	大友 保志② 杉山 栄一④ 土屋 英治④ 山本 貞司⑥	片野 浩一③ 杉山 敏正① 椿 真吾②	川口 五郎⑥ 鈴木 典之⑤ 野秋 和弘⑤			
第2区	沼津市東海道本線以南 但し、東海道本線によって 分断される次の地域は以北 も編入する。 大手町一丁目、三芳町 片浜地区、原地区	28	伊藤 栄章⑧ 白岩 正和⑭ 中山 美砂② 坂東 功一⑩	植松 都③ 杉山 雄一② 名取 正純③ 一杉 稔夫③	宇野 統彦⑧ 田岡 政明⑨ 新田 正直③ 藤田 達男⑩	梅島 佐一⑤ 田澤 穆⑪ 萩原 誠① 真野 幸正①	加藤 浩一郎① 田村 雄一③ 長谷川 剛二③ 安田 幸則⑨	後藤 松郎② 土井 宣博② 島山 昭夫③ 山本 豪彦③	笹原 勝美⑧ 友田 美千代① 花村 弘⑨ 渡邊 勇人①			
第3区	御殿場市、駿東郡小山町	46	青木 守① 勝亦 修治④ 勝又 洋⑦ 菅沼 正光⑥ 高村 繁男⑩ 戸栗 太平⑧ 矢後 芳博②	池谷 正徳⑥ 勝間田 信輔⑤ 勝又 誠⑦ 杉山 誠治⑦ 高村 嘉光④ 外山 恵市① 山内 剛①	石田 隆信③ 勝俣 清一⑩ 勝俣 充徳④ 杉山 敬尚② 高森 茂生④ 長島 晃一⑧ 和太 宝①	井上 元⑥ 勝又 敏雄⑪ 勝又 義文⑩ 杉山 芳三⑦ 田代 和美⑥ 根上 義典⑩ 和太 宝①	大川 一浩② 勝又 肇⑥ 澁谷 一⑥ 鈴木 禎夫⑥ 立道 幸男⑩ 野村 弘徳②	小野 寛幸⑥ 勝又 秀雄⑦ 菅沼 茂明⑥ 鈴木 学② 土屋 廣実② 林 則夫③	小野 盛久② 勝亦 英樹⑥ 菅沼 久⑭ 鈴木 雄一郎① 坪口 榮二⑧ 松井 裕⑥			
第4区	裾野市、三島市 駿東郡長泉町 駿東郡清水町 富士市、田方郡函南町 伊豆の国市、伊豆市 神奈川県足柄下郡箱根町	29	足立 勝美④ 岡田 順二③ 鈴木 幾夫⑥ 松浦 一則① 渡辺 雄二⑪	伊藤 毅③ 河西 拓真① 鈴木 規仁② 村田 忠嗣③	伊藤 良男③ 勝又 祐一郎① 二ノ宮 善明⑤ 室伏 哲也④	内田 豪③ 齋 秀之② 野田 和秀⑥ 山口 和之①	江部 徳朗② 三枝 文昭⑥ 羽田 昭⑦ 山田 繁①	太田 貴久③ 佐藤 英行① 原 衛⑧ 米山 晴敏⑥	大庭 泰司① 須賀 亮介① 福島 信政③ 渡邊 悦朗①			
合計			129									

総代の属性等別構成比

職業別/法人代表者96.1% 個人事業主3.9%
年代別/40代7.0% 50代25.6% 60代35.7% 70代26.3% 80代以上5.4%
業種別/製造業20.9% 建設業20.9% 小売業17.1% その他サービス業25.6% 不動産業8.5% その他7.0%

2021年6月22日現在